

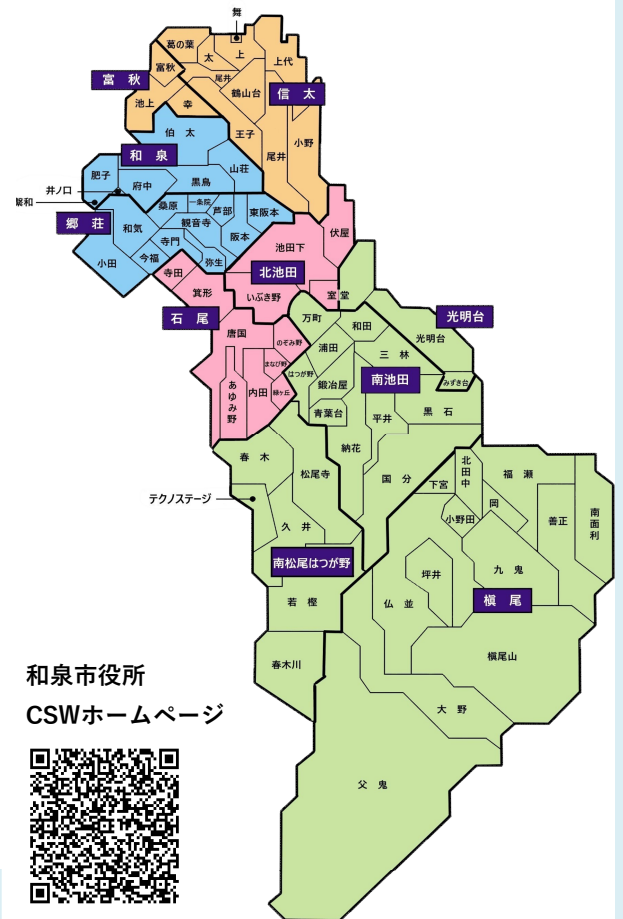
和泉市いきいきネット相談支援センター  
CSW活動報告

これまでも私たちは、住み慣れた場所で安心して暮らせる地域づくりを目指して、地域のサロンや子ども食堂などの集まりへの参加し、地域について住民の方と一緒に話し合い、勉強会や相談会を開催してきました。さらには分野を超えた機関と連携を図るなど、活動を続けてきました。令和6年度は様々なつながりの中から新たな活動を広げることができました。



## 総合相談ネットワークの充実

令和6年度は市内の3つの高校と1つの大学に、周知活動・関係づくりを行いました。学校の先生方からは18歳になると児童福祉法が適応されなくなる実態と、個人情報の取り扱いの難しさについてお話を伺いました。また、各学校の生徒たちに向けた様々な取り組みに参加し、実際に生徒たちと交流する機会も得られました。この活動を通して、より多くの若者に気軽に相談してほしいという思いを強め、新しいリーフレットを作成し、高校・大学へと配布しました。今後も赤ちゃんから高齢者まで、困ったときに一人で悩みを抱えこまない福祉のネットワークづくりに努めてまいります。

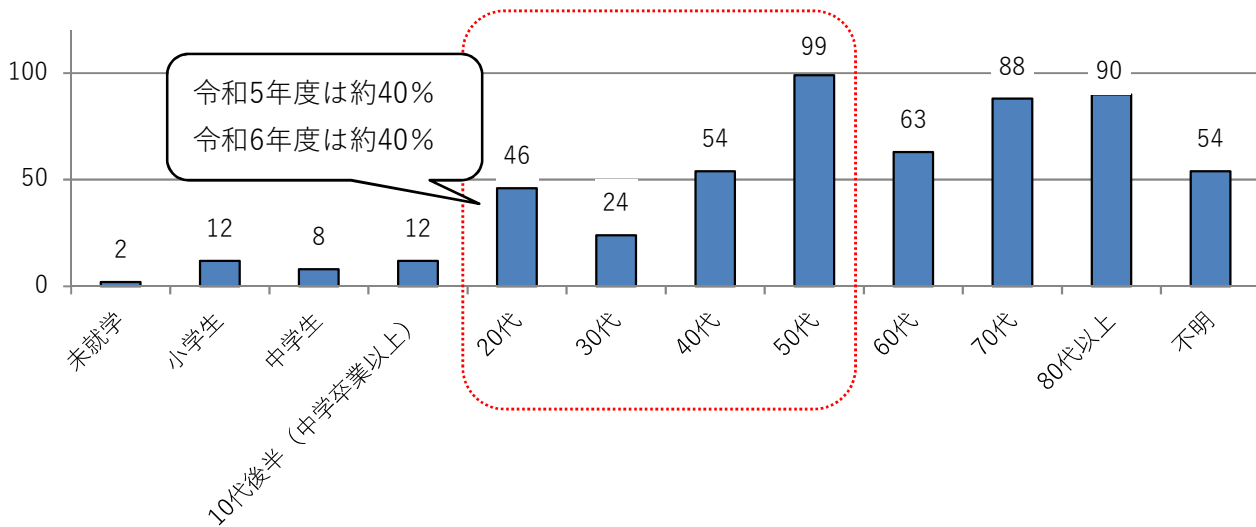


## ○年間の相談件数 552件



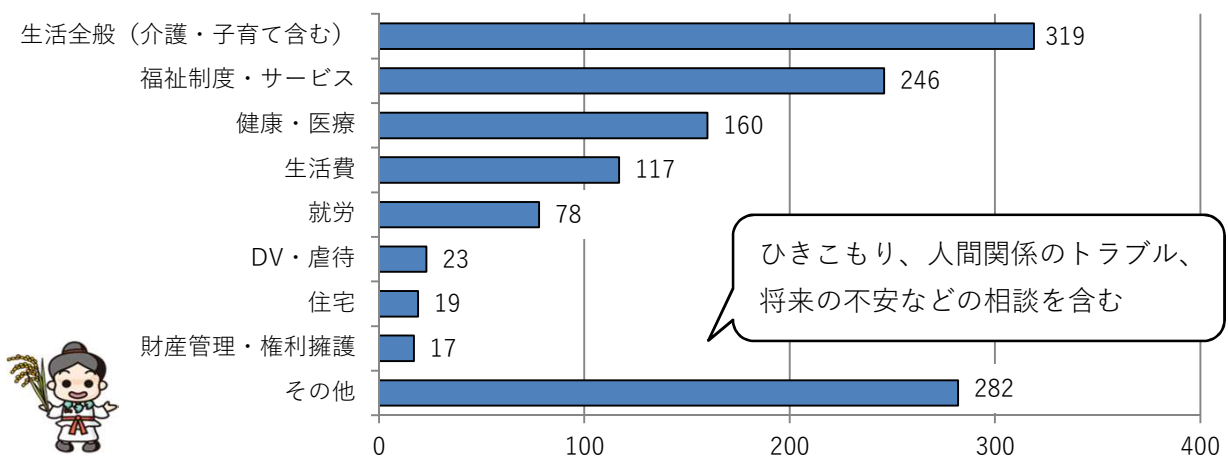
## ○年代別の相談件数

n=552 (人)

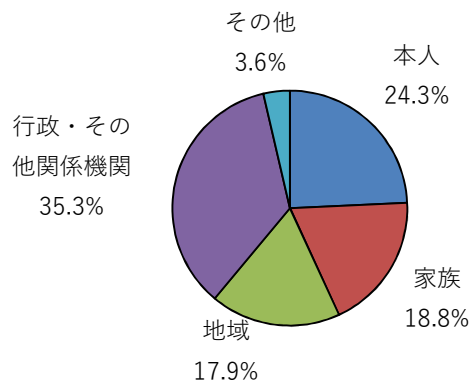


## ○内容別の相談件数 (重複あり)

n=1,261 (件)



## ○相談経路

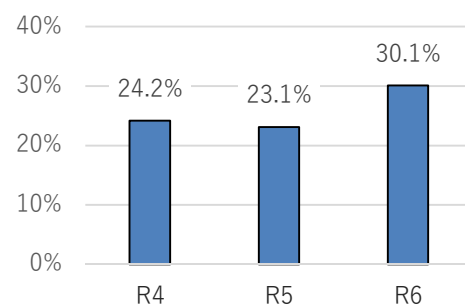


地域の内訳：

民生委員・児童委員、町会・自治会関係者、  
ボランティア、友人知人

(各カテゴリーの%は小数第2位を四捨五入したものであり、%の加算値がちょうど100にならない場合がある)

## ○社会的孤立・閉じこもりについての相談割合



「社会的孤立」は職に就いていない、ひきこもり、不登校などで家族としか会話をしない、近隣とのつながりが全くない、もしくはあっても極端に少なく、人との交流がほとんどない状態を表している。(CSW部会より)